

製品名: リボソームタンパク質 S8 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab17190

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	30kDa

抗原情報

遺伝子名	RPS8
別名	RPS8; OK/SW-cl.83; 40S ribosomal protein S8
遺伝子 ID	6202.0
SwissProt ID	P62241
免疫原	抗血清はヒト RPS8 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 111-160

背景

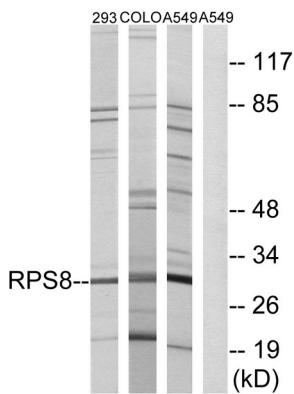
リボソームは、タンパク質合成を触媒する細胞小器官で、小さな 40S サブユニットと大きな 60S サブユニットから構成されています。これらのサブユニットは合わせて 4 種類の RNA と約 80 種類の構造的に異なるタンパク質で構成されています。この遺伝子

は、40Sサブユニットの構成要素であるリボソームタンパク質をコードしています。このタンパク質は、リボソームタンパク質のS8Eファミリーに属し、細胞質に局在しています。大腸腫瘍および大腸ポリープでは、対応する正常大腸粘膜と比較して、この遺伝子の発現が亢進していることが観察されています。この遺伝子は、それぞれ4番目、5番目、1番目、2番目のイントロンに位置する小さな核小体RNA遺伝子U38A、U38B、U39、およびU40と共転写されます。リボソームタンパク質をコードする遺伝子に典型的であるように、この遺伝子の複数の処理された擬遺伝子がゲノム中に散在しています。 [RefSeq 提供、2008年7月]類似性:リボソームタンパク質S8eファミリーに属します。、

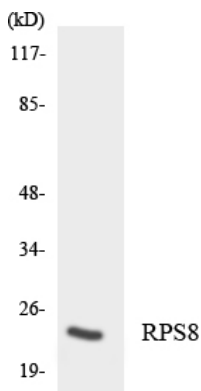
研究分野

リボソーム;

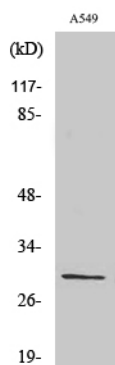
画像データ



RPS8抗体を用いたA549細胞、293細胞、およびCOLO細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



RPS8抗体を使用したJurkat細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



リボソームタンパク質S8ポリクローナル抗体(1:2000希釈)を用いた各種細胞のウェスタンブロット解析

